

2014(平成26)年度 事業報告

一般財団法人 芙蓉協会

1. はじめに

2014年度は、医療・保健・在宅サービスを通して地域社会に貢献できる事業の源泉となる「ひとづくり組織への挑戦」をテーマとして掲げ、目標参画制度を活用し、役割、能力評価を付加した人事制度を新たにスタートさせた。これにより職員が意欲的に取り組むことが出来、かつ組織目標を理解し、実践し、課題達成して出来たことをきちんと認めていく組織風土のあり方を目指した。人事制度については、職員が納得した制度として成熟するまでには、様々な課題はあるものの、次年度には評価者の標準化に取り組む予定である。

2014年度の事業実績では、医療事業においては、診療報酬改定により厳しい経営を強いられた1年であった。A棟の改修計画を予定していたが、経営状況の改善を先決事項としてまずはその立て直しに最大の力を注ぐことになってしまった。

また、東海北陸厚生局による適時調査や沼津税務署による税務調査、生活保護法の個別指導など多くの監査が集結した年度でもあった。これらの指導を通じて、組織としてはもちろんのこと、職員個々にもコンプライアンスを充分理解させていく必要性を改めて感じた年でもあった。

在宅事業においては、ショートステイ、デイサービスを柱とした「看護小規模多機能型居宅介護事業所せいれい緑町」を開設させ、内覧会には沼津医師会をはじめ多くの関係者に参加いただき、改めて私たちの行う新規事業への期待の大きさを実感することができた。

経営的には、病院の上半期の大きなマイナス分を下半期に埋めるに留まってしまったため、経常利益における予算との開きは出てしまったものの、病院職員の患者受け入れへの頑張り、健診センター職員の努力による施設内健診受診者数増加と単価増があいまって過去最高収益を計上できたこと、在宅サービス事業部の過去最多訪問件数による経営への寄与など、職員の総力によって赤字決算とならなかったことは、次年度に繋がる大きな収穫であった。

※各事業別の主な経営成績は以下の通りである。

(千円)

科目	事業別	前年実績	平成26年度				対前年実績比
			予算	実績	差異	対予算比	
医業収益		8,057,896	8,481,480	8,055,338	-426,142	95.0%	100.0%
	病院	6,443,768	6,821,270	6,419,589	-401,681	94.1%	99.6%
	健診	1,476,183	1,502,880	1,488,021	-14,859	99.0%	100.8%
	在宅	137,657	156,970	147,347	-9,623	93.9%	107.0%
医業費用		8,020,596	8,418,610	8,103,868	-314,742	96.3%	101.0%
	病院	6,523,844	6,829,740	6,568,375	-261,365	96.2%	100.7%
	健診	1,251,919	1,313,750	1,274,498	-39,252	97.0%	101.8%
	在宅	140,072	167,880	155,776	-12,104	92.8%	111.2%
経常利益		75,556	101,000	27,231	-73,769	27.0%	36.0%
	病院	-129,344	-61,500	-162,699	-101,199	—	—
	健診	208,794	173,300	199,744	26,444	115.3%	95.7%
	在宅	-3,894	-10,800	-9,814	986	—	—
当期純利益		24,191	58,000	4,948	-53,052	9.7%	20.5%
	病院	-133,395	-67,000	-180,723	-113,723	—	—
	健診	162,191	136,000	195,813	59,813	144.4%	120.7%
	在宅	-4,605	-11,000	-10,141	859	—	—

2. 聖隷沼津病院

全国の医療機関がそうであったように当院でも7対1入院基本料を算定するために「重症度、医療・看護必要度」、「平均在院日数」の基準がより厳格化されたことにより、早く患者を退院させる動きが活発化し、結果として病床稼働率の低下、収入の低下につながったことが経営を難しくさせた大きな要因であった。平均在院日数が短縮されていく現状の中、前年同様の受け入れ患者数では、経営ベースには及ばないため、更なる患者受け入れ体制を整えなければならない。そのためには、地域との連携を今まで以上に進めることはもちろん、同法人内の健診センターからの更なる紹介を受けられる緊密な連携を進めていく必要があり、次年度への継続課題となる。

2014年度は、稼働病床246床として各診療科の診療体制の充実を図らなければならなかったが、チーム医療の推進と医師事務作業補助者による医師への診療支援を充実させたことにより患者一人あたりの診療単価は入院・外来ともに過去最高単価な診療を実施することができた。一方、入院患者数については、対前年約20名増/月の入院患者受け入れをしたにも関わらず、病床稼働率は約5%低下するといった実態を想定できなかったことは反省すべき点である。

しかし、診療部が一体となり、できるだけ紹介患者を断らない方針を打ち出したことにより、紹介患者数は3,984名、紹介率25.0%、紹介から入院に繋がった件数も1,163件といずれにおいても昨年同様、高い受け入れ体制を維持できたことは、次年度への好材料となった。さらに、健診センターからの紹介においても13%増加の2,125件と過去最高の受け入れを行ったものの、未だ課題はあり更なる受け入れの余地は残されていると考える。

医療スタッフの充実といった点では、脳神経外科2名、外科1名、小児科1名の新規採用と看護師23名を採用し増員に繋げることが出来た。

	前年実績	予算	実績	対予算差	対前年差
入院1日平均患者数(人)	172	185	161	-24	-11
単価(円)	46,025	46,400	47,148	748	1,123
外来1日平均患者数(人)	598	620	589	-31	-9
単価(円)	19,182	19,100	19,934	834	752

3. 聖隷沼津第一クリニック（聖隷沼津健康診断センター）

2014年度は、消費税率が5%から8%への変更に伴って作業量は増大したが、健康保険組合や事業所等との大きな混乱も無く移行することができた。また、常勤医師の急な欠員により混乱したが、各スタッフ特に医務課の先生方・病院長の協力により施設内・外共に順調に業務を行うことができた。

施設内健診では、住民検診の実施期間が前倒しになるとの話があったため、6月に実施していた教職員の婦人科検診の実施時期の変更を余儀なくされ、新たな運用を構築し乗り切ることができた。住民検診では、子宮がん・乳がん検診でクーポン券の対象が縮小され受診者が減少するなどの逆風はあったものの、住民検診全体では対前年及び予算を上回ることができた。

施設外健診においては、新規事業所があったものの、県外へ移転する事業所や保健事業部との連携による減少、市町村婦人科検診ではHPV検査が無くなりマイナス要因が多かったこともあり対前年及び予算に対し未達となった。

センター全体では、10月には過去最高の医業収益を更新することができたが、受診者数で前年対比

及び予算に対し未達となり、収入では対前年比で 0.8%増、対予算は未達となったが、税引前当期純利益としては約 1 億 9,900 万円の成績で終えることができた。

施設としては、ISMS の認証機関の変更や新規格バージョンでの移行再認証審査があり、マニュアル等の変更が行われたが無事に更新することができた。また、全国労働衛生団体連合会の労働衛生サービス機能評価の更新審査もあり何点か指摘をされたが、こちらも無事更新することができた。6 月には、緊急連絡安否確認システムの緊急メールを使用した緊急連絡テスト、8 月に津波、3 月に火災を想定した防災訓練を実施することでスタッフの防災への意識向上に繋げることができた。

	前年実績	予算	実績	対予算差	対前年差
施設内受診者数 (人)	74,016	75,553	74,733	-820	717
施設外受診者数 (人)	43,590	43,705	42,487	-1,218	-1,103
外来受診者数 (人)	5,546	5,839	5,652	-187	106
単価 (円)	11,932	11,941	12,015	74	83

4. 在宅サービス事業（聖隷訪問看護ステーション千本・聖隷ヘルパーステーション緑町・看護小規模多機能型居宅介護事業所せいいれい緑町）

2014 年度は、看護小規模多機能型居宅介護事業所をスムーズに開設するための準備の年であった。地域の病院、開業医師や、利用者、介護者からの期待は大きくそれに応えられる施設づくりのために人、物、業務内容を準備できた。また、訪問看護ステーションは 20 周年を迎え記念式典を同時に行うことができ多くの方に出席していただいた。

沼津近域はステーションが乱立したにも関わらず、訪問件数は減っておらず機能強化型ステーションとして地域の中でその役割を果たしてきたことが結果につながったと考える。

今後も看護・リハビリ・ケアマネ・介護が連携して質の高いサービスを提供し、行政、市医師会、ケアマネ協議会等とも連携しながら地域包括ケアシステムの一翼を担っていきたい。

	前年実績	予算	実績	対予算差	対前年差
医療保険 利用者延べ数 (人)	2,840	2,930	3,582	652	742
単価 (円)	10,497	11,110	10,757	-353	260
介護保険 利用者延べ数 (人)	15,518	15,450	16,373	923	855
単価 (円)	6,746	7,250	6,449	-801	-297

5. おわりに

次年度は、病院、健診、在宅の 3 事業が地域における当協会の存在意義・地域からのニーズを常に考え、多くの課題を一つ一つ着実にクリアしながら、長期的に安定した法人運営を目指していきたい。

【2014 (平成 26) 年度の主な行事】

法人全体

行 事 内 容	実 施 日
新入職員オリエンテーション	4月 1日～ 2日
新人事制度評価者研修	4月 11日
監事監査(決算、中間)	5月 7日、12月 18日
理事会	5月 22日、6月 10日、3月 19日
中堅職員研修 (全6回)	5月 22日、7月 25日、8月 28日、 10月 18日～19日、11月 14日、 3月 13日
新人職員研修 (全2回)	6月 7日～ 8日、1月 16日
評議員会	6月 10日
クリーンアップ作戦 (河川等の清掃)	6月 14日
2年目職員研修	7月 12日～13日
沼津税務署による税務調査	7月 22日～25日
聖隷福祉事業団による関連法人外部監査、フォロー監査	9月 17日、2月 25日
インストラクター研修	9月 17日
診療技術部・事務部合同役職者研修	10月 11日
第27回聖隷沼津学術集会	11月 9日
生活習慣病予防対策講座 (聖隷健康保険組合)	2月 10日
看護小規模多機能型居宅介護事業所せいれい緑町竣工式	3月 19日

聖隷沼津病院

行 事 内 容	実 施 日
介護職員等によるたんの吸引等の研修 (第2号・第3号)	5月 9日～ 6月 27日 9月 1日～10月 28日 1月 6日～ 3月 3日
第8回市民公開講座「家族を肺がんで失わないために」	6月 14日
防災訓練	6月 21日、11月 15日
第8回地域連携懇話会	7月 1日
医療安全セミナー	7月 4日、10月 31日
BLSセミナー	7月 15日、 7月 19日
高校生一日看護体験	7月 30日、 8月 5日
院内感染対策セミナー	8月 11日、 9月 8日、11月 10日
医療安全セミナー	7月 26日、 8月 7日
聖隷福祉事業団による関連法人施設基準外部監査	8月 19日
東海北陸厚生局適時調査	8月 22日
ISO維持審査	10月 16日～17日
医療法第25条第1項に基づく立入検査・消防立入検査	11月 5日
生活保護法指定医療機関個別指導	3月 12日

聖隷沼津第一クリニック(聖隷沼津健康診断センター)

行 事 内 容	実 施 日
社会保険労務士 講習会	8月19日、3月19日
津波想定防災訓練	8月26日
ジャパン・マンモグラフィ・サンデー	10月19日
安全運転講習	10月23日
ISMS 内部監査員研修	11月14日・21日
ISMS 教育研修	12月
ISMS 再認証審査	1月20日～23日
労働衛生サービス機能評価認定更新審査	2月23日
火災想定防災訓練	3月24日

在宅サービス事業 (聖隷訪問看護ステーション千本・聖隷ヘルパーステーション緑町・ 看護小規模多機能型居宅介護事業所せいいろい緑町)

行 事 内 容	実 施 日
全国訪問看護事業協会 理事	任期2年
静岡県訪問看護ステーション協議会 理事	任期2年
静岡県訪問看護師ステーション協議会電話相談事業	4月1日～
千本地区ケアマネのつどい スーパーバイザー	年4回
千本地区主任ケアマネ研修スーパーバイザー	年4回
沼津市立看護専門学校 講師	年5回
静岡医療センター付属看護学校 講師	年4回
静岡医療センター付属看護学校 卒業記念講演	1回
順天堂大学看護学部 講師	1回
静岡がんセンター在宅緩和ケア推進ワーキングメンバー	年4回
沼津介護保険審査会 委員	任期2年
社会福祉法人春風会 研修講師	1月14日
県ふじのくに長寿社会安心プラン 策定委員	年4回
第7次沼津市高齢者保健福祉計画 策定委員	年4回
駿東田方圏域自立支援協議会「重症心身障害児(者)専門部会」委員	年3回
静岡県東部伊豆地区脳卒中連携パス合同連絡会 講師	1回
御殿場市健康福祉センター地域包括システム構築 講師	3月
まごころサービス 職員研修	3回
聖隷ヘルパーステーション緑町廃止	1月14日
看護小規模多機能型居宅介護事業所せいいろい緑町竣工式	3月19日
看護小規模多機能型居宅介護事業所せいいろい緑町内覧会	3月28日
聖隷訪問看護ステーション20周年記念パーティー	3月28日